



中央自動車工業株式会社

2025年度上半期

決算ハイライト

- 2025年度上半期決算の概要 … 1~4p
- 2025年度上半期の開発型企业としての施策 … 5~10p
- 2025年度通期の目標 … 11~14p



2025年度／連結決算の概況(2025年4月1日～2025年9月30日)

●連結子会社及び持分法適用関連会社

(※自己株式を除く)

連結対象会社		資本金	持株比率
イ.連結子会社 7社	セントラル自動車工業(株)	50百万円	100.0%
	CAPCO PTE LTD(シンガポール)	37百万円(50万Sドル)	100.0%
	CAPCO USA, INC.(米国)	90百万円(80万3千米ドル)	100.0%
	(株)ABT	10百万円	100.0%
	(株)フラッグス	3百万円	100.0%
	(株)ケー・エム・エンタープライズ	10百万円	100.0%
	森田産業(株)	12百万円	100.0%
ロ.持分法適用関連会社 2社	(株)石川トヨペットカローラ	195百万円	42.7%
	エイスインターナショナルトレード(株)	30百万円	39.2%

●全社の業績

単位:百万円(要約)

	2025年上半期予算	2025年上半期実績	予算達成率(%)	2024年上半期実績	対前年増減	対前年比(%)
売上高	21,600	20,450	95	19,440	1,010	105
荒利益	9,650	9,060	94	8,590	470	105
販売費及び一般管理費	4,150	3,890	94	3,420	470	114
営業利益	5,500	5,170(25.3%)	94	5,170(26.6%)	0	99
経常利益	6,100	5,890(28.8%)	97	5,920(30.5%)	▲30	99
親会社株主に帰属する当期純利益	4,200	4,720(23.1%)	112	4,170(21.5%)	550	113

※()内は売上比率

●事業の種類別セグメント／販売実績

		2025年上半期(構成比%)	2024年上半期(構成比%)	対前年増減	対前年比(%)	
自動車部品・用品等販売事業		16,420(80)	15,280(79)	1,140	107	
	うち	国内販売	12,010(59)	11,350(58)	660	106
		海外販売	4,410(21)	3,930(21)	480	112
自動車処分事業		4,030(20)	4,160(21)	▲130	97	
計		20,450(100)	19,440(100)	1,010	105	

連結純利益

単位:百万円(切捨て)

	2025年上半期	売上比(%)	2024年上半期	売上比(%)	前年比増減	伸び率(%)
経常利益	5,888	28.8	5,926	30.5	△ 38	99
特別利益	600	2.9	—	—	600	—
特別損失	—	—	—	—	—	—
税金等調整前中間純利益	6,488	31.7	5,926	30.5	562	109
法人税等	1,771	8.7	1,755	9.0	16	101
親会社株主に帰属する中間純利益	4,717	23.1	4,171	21.5	546	113
1株当たり中間純利益	85円41銭	—	75円55銭	—	9円86銭	—

※当社は2025年4月1日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり中間純利益」および「1株当たり純資産」を算定しております。

■連結貸借対照表

	2025年上半期	2025年3月期	前年比増減
総資産	66,905	63,492	3,413
純資産	59,303	55,701	3,602
自己資本比率(%)	88.6	87.7	0.9
1株当たり純資産(円)	1,073.07	1,008.52	64.55

連結キャッシュ・フロー計算書の概要(2025年4月1日~2025年9月30日)

単位:百万円(切捨て)

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

	税金等調整前当期純利益①	6,488
非資金費用等	減価償却費	155
	のれん償却額	242
	負ののれん発生益	△600
	退職給付に係る負債(退職給付引当金)の増加額	39
	持分法による投資損益(△は利益)	△530
	非資金費用等による資金調達②	△694
営業活動による資金	受取利息及び受取配当金	△128
	売上債権の減少額	103
	棚卸資産の増加額	△40
	前渡金の減少額	151
	仕入債務の減少額	△160
	未払費用の減少額	△200
	その他	5
	営業活動による資金調達③	△269
	小計(①+②+③)	5,525
その他	利息及び配当金の受取額	183
	法人税等の支払額	△2,013
	その他による資金調達④	△1,830
	(A) 営業活動によるキャッシュ・フロー(①+②+③+④)	3,695

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動	有形固定資産の取得による支出	△138
	無形固定資産の取得による支出	△3
	投資不動産の賃貸による収入	25
	連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△586
	貸付けによる支出	△10
	貸付金の回収による収入	659
	その他	△4
	(B) 投資活動によるキャッシュ・フロー	△58

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動	配当金の支払額	△1,680
	その他	△18
	(C) 財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,698

	(D) 現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
--	----------------------	----

	現金及び預金の増減額(△は、減少額)(A+B+C+D)	1,938
	現金及び預金の期首残高	(注) 23,560
	定期預金の増加額	(注) 203
	現金及び預金の期末残高	(注) 25,701

(注)「現金及び預金」の期首残高には3,000百万円、期末残高には3,203百万円の3ヶ月超の定期預金を含む

配当金について(修正)

- 当社は配当政策を経営上の重要課題としており、環境の変化が激しい中でも開発型企业として経営の維持・発展に努め、株主の皆様には「安定かつ高配当」を継続してまいりたく存じます。
- 以上の観点から、中間配当金は当初予想では25円としておりましたが、1円増配の1株当たり26円とさせていただきます【株式分割前基準 68円→78円、昨年比10円増配】、期末配当予想の31円と合わせて、年間配当金を57円とさせていただきます【株式分割前基準 159円→171円、昨年比12円増配】。

■配当金の推移

株式分割

	2013年 3月期	2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期	2025年 3月期	2026年 3月期 (案)
中間配当 1株当たり	13.0	13.0	13.0	13.0	16.0	19.0	22.0	28.0	28.0	34.0	39.0	54.0	68.0	26.0 (78.0)
期末配当 1株当たり	13.0	14.0	14.0	※ 20.0 (記念配当3.0円)	19.0	22.0	28.0	28.0	32.0	36.0	53.0	76.0	91.0	31.0 (93.0) (案)
年間配当 1株当たり	26.0	27.0	27.0	※ 33.0 (記念配当3.0円)	35.0	41.0	50.0	56.0	60.0	70.0	92.0	130.0	159.0	57.0 (171.0) (案)
連結配当性向 (単体)	28.5% (31.7%)	29.2% (32.2%)	31.4% (34.4%)	31.8% (35.7%)	26.3% (29.8%)	27.1% (30.5%)	26.6% (29.8%)	26.2% (26.2%)	28.4% (29.8%)	27.4% (30.3%)	26.9% (30.2%)	30.2% (34.7%)	33.7% (41.2%)	33.7% (41.8%)

(注) ①配当性向は、2024年3月期より連結ベースで計算。 ②2026年3月期の「期末」「年間」「配当性向」数値は案。

③2025年4月1日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施。2025年3月期までは株式分割前の数値。2026年3月期(案)は株式分割後の数値(()は分割前基準にて換算)。

2025年度上半期

開発型企業
としての施策

2025年度上期の活動／I

国内営業 ●2025年3月に竣工した東京支社では、施設を活用したお客様向けの研修等の取り組みを強化



東京支社(2025年3月竣工)



お客様向けの研修の様子



●同時期に高崎支社も竣工し、北関東エリアの営業を強化



高崎支社(2025年2月竣工)



●アルコール検知器の付加価値アップを広く提案



クラウド管理を推進

2025年度上期の活動／Ⅱ

人財育成 ●次世代人財育成研修2期目 ●管理職スキル向上研修1期目準備



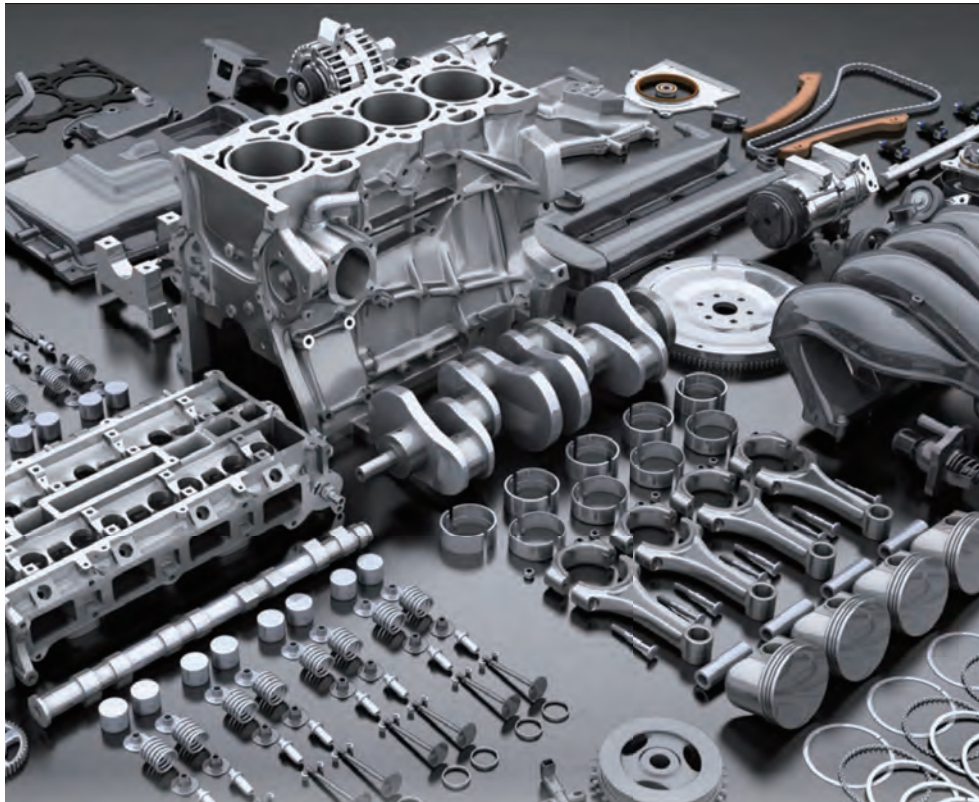
新規事業 ●エアロネクスト社への出資によるドローン物流の挑戦 ●次世代コーティングの開発・商品化



2025年度上期の活動／Ⅲ

M&A

- 四輪・二輪自動車用補修部品の海外向け商社
森田産業株式会社を買収・子会社化



中南米地域へのシェアが高く、当社の海外営業部とのシナジー効果があります。

社会貢献活動/ESG・SDGsの取り組み/人的資本投資

社会貢献活動

弊社では自動車業界に身を置く者の責務として、交通事故を1件でも無くしたいとの思いからアルコール検知器「ソシアック」を開発。また「社会に貢献する」との企業理念のもと、様々なCSR活動を実践・継続しています。

●公益財団法人交通遺児等育成基金への寄付



●JPA日本パラ陸上競技連盟への協賛



●FMラジオ局の飲酒運転防止活動への協賛



ESG・SDGsの取り組み

ボディコーティングなどの溶剤の空き瓶を回収、リサイクルに繋げる取り組みを拡大

現在42都道府県で実施
約76%以上(売上金額による概算割合)をリサイクル (2024年度末実績)



ISO14001、9001の認定を取得、活動を継続



健康経営への取り組み



アルコール検知器のリユース活用



ダイバーシティの推進



ボディコーティングの販売による環境負担の軽減



パートナーシップ構築宣言に参画



人的資本投資

「人的資本投資」を最重点項目として社員の成長プログラムを作成。女性活躍推進・有給取得率の向上等を通じた職場環境の改善や能力向上を促す「学びなおし」環境の整備を行うことで、従業員エンゲージメントの向上に取り組んでいます。

【研修の例】

- 入社前/入社後研修
- 社外販売実習
- OJT研修
- フォロー研修
- 部下育成プログラム
- 営業ロールプレイング・サービス技術コンテスト
- 若手社員通信教育
- 英語オンラインレッスン
- TOEIC S&W受験



など

広告宣伝強化



中央自動車工業のブランド化

創業80周年となる2026年に向けて、「セントラル」ブランドのさらなる認知向上をはかっていくとともに、「2030年の当社のあるべき姿（パーパス）」として掲げる『未来のモビリティ社会における最良のパートナー』となるべく、活動を加速してまいります。

目的

①IR

②株価上昇

③リクルート

④社員のモチベーションアップ

\ 自社初の企業CM /

2025年1月 テレビCM放映開始
現在Tver/YouTube等にて放映中



俳優の蒔田彩珠さん出演の自社初の企業テレビCMを制作。全国で放映中

2024年12月22日
ラグビー
冠試合開催

中央自動車工業プレゼンツ



地元・大阪のラグビーチーム
レッドハリケーンズ大阪の
スポーツスポンサーシップを
継続

展示会出展



今年度も複数の
展示会への出展を
計画。
CENTRALのロゴを
広くアピール

2025年度 通期の目標

(企業理念)

世界のネットワークを通じて環境にやさしく、安全と豊かなカーライフを創造して、社会に貢献する。

(基本方針)

1. お客様の潜在ニーズを読み、期待を上回る新しい商品・サービスの開発を通じて需要を創造します。
 2. 全てのお客様・お取引先様への感謝の念を忘れず、徹底したサービス体制を通じて、信頼とお役に立つ中央を目指します。
 3. 役員・社員の能力と生活向上を通じて、社会的責任を果たす開発型企業を目指し、株主様には安定かつ高配当を継続いたします。
-

(行動指針)

1. **インテグリティ**
誠意を持って、仕事・人・社会と向き合い、常に正道を歩む勇気を持つ。
 2. 現場主義(現場・現物・現実—3現主義)を徹底し、何事も現場に行き自らの目で確認する。
 3. 得意先の方針、施策に則り、最低3ヶ月先行した130%の施策に取り組む。
 4. 新規の開拓は会社を永續発展させる基本であり、営業で最も大切な事は新規開拓である。
 5. お客様に感動して頂けるビフォアサービス・アフターサービスを行い、日々その精度向上に努める。
 6. 得意先トップとの面談を重ねた人脈構築は中央社員の基本である。
 7. 日々勉強して自己成長を遂げる事は中央社員の使命である。
 8. 「整理・整頓・清掃・清潔・躰」は中央社員の基本である。
-

2025年度の方針

国内営業

- ①地域密着営業を通じて、新しいお客様を創る
変化激しい市場環境の中、「新規顧客開拓」「新規ビジネスモデル開拓」「新商品の拡販」の3つを強力に進める。
- ②次世代コーティングの開発
- ③メーカーOEM商品の市場浸透と拡販
- ④アルコール検知器のブランド強化と安定化
- ⑤異業種向けビジネスの提案強化
- ⑥首都圏営業の強化



新・東京支社でのお客様向け勉強会



海外営業

- ①海外における商品ブランディングを展開
マスメディア、デジタル広告等を活用し、PB商材やOEM、海外におけるオリジナル商品の市場浸透を図る。
- ②PB商材をはじめとした高付加価値商品の拡販
- ③子会社の森田産業、ケー・エム・エンタープライズとの協業強化
- ④地域密着型営業による新規開拓の強化
- ⑤海外におけるコーティングビジネスを拡大



投資方針

商品開発のための研究・開発設備の導入と人員の拡充

営業力向上を目的としたDX化の積極的な推進

人的資本を重視したサステナビリティ経営の強化

広告宣伝強化による国内外におけるブランディング

M&A・ベンチャー投資・新規事業推進による業容拡大

「インテグリティと感謝の心」を企業文化とする人材育成

2025年度通期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

単位:百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益	配当予想
2025年度通期目標	45,500(109%)	11,800(107%) ※売上比 25.9%	13,000(105%) ※売上比 28.6%	9,350(108%) ※売上比 20.5%	169円19銭	分割後(分割前) 第2四半期末 26円(78円) 期末 31円(93円) 合計 57円(171円) (前期比+12円) 配当性向 33.7%(連結)
2024年度通期実績	41,550(106%)	11,040(109%) ※売上比 26.6%	12,420(110%) ※売上比 29.9%	8,680(110%) ※売上比 20.9%	157円23銭	

()内%表示は、2025年度通期が対2024年度通期、2024年度通期が対2023年度通期伸率。
2025年4月1日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を実施。配当予想値は株式分割後の値、()は分割前基準の値。



パーパスとして掲げる「未来のモビリティ社会における最良のパートナー」の実現に向けて、人的資本に向けた投資や
企業ブランディング・DXに向けた投資を強化し、従業員エンゲージメントの向上と効率的かつ戦略的な事業展開を推進することで、
新たな需要を創造して社会に貢献できる開発型企业として、株主の皆様のご期待にお応えする所存でございます。

何卒一層のご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。